

9 日本の鉄道遺産一覧

以下の表は、全国に散在する鉄道関連の「遺産」をまとめたものである。何をもって「鉄道遺産」とするかは議論のあるところだが、本表作成にあたっては、さしあたって公の機関等により何らかの指定や認定を受けているものを掲載した。表に掲載しているもの以外にも、私鉄各社が記念物として指定しているもの（たとえば東武鉄道には独自の記念物制度がある）、あるいは記念物等の指定は受けていないものの歴史的意味をもつ注目すべき事物（たとえば桜木町駅近くにある「鉄道発祥記念碑」）は多数あると思われるが、これらすべてを整理することは現時点では困難であり、また紙幅の都合もあるので割愛する。

《凡例》

(1) 最右欄の「鉄道遺産」の種別は以下のとおり。

- ①**鉄道記念物・準鉄道記念物**：国鉄が1958年に制定した記念物制度に基づいて指定された事物。国鉄の分割民営化後は、JR西日本とJR九州が独自に昇格指定・新規指定を実施している。
 - ②**重要文化財**：重要文化財は国・都道府県・市町村レベルで存在するが、本表では文部科学大臣指定による「国の重要文化財」のみ掲載した。指定対象の現状変更や譲渡に一定の制限があるなど、文化財保護法下では「国宝」に次ぐ重要な指定。
 - ③**登録有形文化財**：重要文化財指定制度を補完する「文化財登録制度」に基づいて登録された有形の事物で、重要文化財に準じる事物。
 - ④**登録記念物**：「登録有形文化財」の記念物版。文部科学大臣により登録。国指定の史跡・名勝・天然記念物や地方公共団体指定の文化財等以外で、歴史上または学術上価値の高いもの。鉄道関係では「立山砂防工事専用軌道」1件のみ。
 - ⑤**近代化遺産**：幕末から第二次世界大戦ごろまでに建設され、日本の近代化に貢献した産業・交通・土木に係る建造物。文化庁が考案した文化財カテゴリーのひとつであるが、重要文化財・登録有形文化財に指定されていないものを含む。
 - ⑥**近代化産業遺産**：経済産業省認定の文化遺産の分類。日本の産業の近代化を物語る建造物・機械・文書などの動産・不動産を「近代化産業遺産群」として認定したもの。本表では各遺産群のうち鉄道にかかわる事物のみを掲載した。
 - ⑦**未来技術遺産**：正式名称は「重要科学技術資料」（「未来技術遺産」は愛称）。「科学技術の発達史上重要な成果を示し、次世代に継承していく上で重要な意義を持つ科学技術史資料」及び「国民生活、経済、社会、文化の在り方に顕著な影響を与えた科学技術史資料」の保存と活用を図ることを目的に国立科学博物館が設けた登録制度に登録されている事物。
 - ⑧**推薦産業遺産**：産業考古学会が認定。もともとは文化財保護法などによる保存措置を受けていない遺産の保存推進を啓蒙するために同学会により1985年から認定されはじめたものだが、推薦産業遺産の認定後に重要文化財や登録有形文化財に指定されたものもある。
 - ⑨**土木遺産**：正式名称は「土木学会選奨土木遺産」。日本国内の「歴史的土木構造物の保存に資する」ことを目的として社団法人土木学会が2000年から認定を開始した。
 - ⑩**機械遺産**：「歴史に残る機械技術関連遺産を大切に保存し、文化的遺産として次世代に伝える」ことを目的として社団法人日本機械学会が2007年から認定を開始した。
- (2) 各「鉄道遺産」の所在は、基本的に地方自治体ごと、路線ごとに記載した。ただし、当該路線が複数の自治体にまたがる場合、また当該記念物等が鉄道路線から離れている場合はこの限りではない。
- (3) 「鉄道遺産」の名称は、一覧としての整合性や紙幅の都合により、正式表記を一部変更している（とくに記念物等の指定・認定が重複している場合、件数が多い場合）。
- (4) 本表に掲載した「鉄道遺産」は原則非公開のものも含まれているため、見学できない場合もある。また、公開されている場合でも、公開日・時間が限定されていたり、予約が必要なものもある。見学の際は、あらかじめ各自で状況を確認されたい。

所 在	名 称	種 別
北海道地方		
北海道	札幌市〔JR北海道苗穂工場〕	準鉄道記念物／近代化産業遺産
	C62 3号機関車	準鉄道記念物
	室蘭市〔室蘭観光協会観光インフォメーションセンター〕	準鉄道記念物／登録有形文化財
	函館市〔函館市青函連絡船記念館「摩周丸」〕	近代化産業遺産／機械遺産

所 在	名 称	種 別
北海道	小樽市〔JR北海道函館本線〕	小樽駅本屋
	旧手宮鉄道機関庫（転車台・貯水槽・危険品庫等を含む）	鉄道記念物／重要文化財／近代化遺産／近代化産業遺産
	〃〔小樽市総合博物館〕	蒸気機関車「しづか号」「大勝号」／い1号客車／キ601号回転雪かき車／キ800号かき寄せ雪かき車
	北海道鉄道開通起点標	鉄道記念物／近代化産業遺産
	キハ03 1号気動車／キハ82 1号気動車／ED75 501号電気機関車	準鉄道記念物
	旧手宮線跡地	近代化産業遺産
	旭川市〔旭川市市民活動交流センター〕	旧国鉄旭川車両工場
	釧路市〔釧路製作所〕	C11 65号、8722号蒸気機関車
	名寄市〔北国博物館前〕	排雪列車「キマロキ」編成
	夕張市〔旧北炭夕張炭鉱専用鉄道〕	高松跨線橋
	〃〔旧三菱大夕張鉄道〕	南大夕張駅跡／客車スハニ6／オハ1／ナハフ1／セキ1.2／キ1ほか
	岩見沢市〔JR北海道岩見沢レールセンター〕	岩見沢レールセンター（旧北海道炭礦鉄道岩見沢工場）
	芦別市〔旧三井芦別鉄道〕	炭山川橋梁
	三笠市〔三笠鉄道記念館〕	旧国鉄幌内線線路跡
	沼田町〔ほろしん温泉ほたる館〕	クラウド15号機関車
	剣淵町〔JR北海道宗谷本線〕	鉄道防雪林（剣淵～士別間）
	幌加内町〔旧国鉄深名線〕	第三竜川橋梁（旧政和駅付近）
	羽幌町〔羽幌町勤労青少年ホーム〕	6輪連結過熱テング機関車58629号
	枝幸町	歌登殖民軌道跡（歌登町営軌道跡）
	遠軽町〔森林公園いこいの森〕	南宮21号蒸気機関車
上士幌町〔旧国鉄士幌線〕	むかわ町〔旧国鉄富内線〕	旧富内駅駅舎及びプラットフォーム・構内線路
	〃	登録有形文化財
	〃	コンクリートアーチ橋梁群（下記橋梁を含む）
	第三音更川橋梁／第五音更川橋梁	準鉄道記念物／登録有形文化財／近代化遺産／近代化産業遺産
	タウシュベツ川橋梁	準鉄道記念物／近代化遺産／近代化産業遺産
	第二・第四音更川橋梁	近代化遺産／近代化産業遺産
新得町〔旧国鉄根室本線狩勝旧線〕	勇川橋梁／十三の沢橋梁／音更トンネル／第六音更川橋梁	登録有形文化財／近代化遺産／近代化産業遺産
	〃	近代化産業遺産
	〃	近代化産業遺産
	〃	近代化産業遺産
	〃	近代化産業遺産
新得町・南富良野町〔旧国鉄根室本線狩勝旧線〕	旧国鉄根室本線狩勝旧線	近代化産業遺産
	〃〔旧国鉄狩勝線〕	狩勝峠鉄道施設群（大築堤群、新内隧道、小笹川橋梁）
	〃	土木遺産
青森県	新得町・南富良野町〔旧国鉄根室本線狩勝旧線〕	狩勝信号場跡
	〃	土木遺産
東北地方	弟子屈町	釧路鉄道跡
	〃	近代化産業遺産
青森県	青森市〔青函連絡船メモリアルシップ八甲田丸〕	青函連絡船「八甲田丸」／可動橋
	野辺地町〔青い森鉄道青い鉄道線〕	野辺地防雪原林（野辺地駅）
青森県	〃	鉄道記念物／土木遺産
	〃	近代化産業遺産